

海外の医学系図書館

中山栄美子
岡山大学附属図書館

背景と目的： 図書館のあり方に疑問を持ち、国内の図書館を見て回ることから始めたが、2000年のICMLへの参加をきっかけとして海外の図書館に目を向け、現在約270館ほどになっている。図書館はいかにあるべきか、ということを念頭に置いて他館の実情を見て回ることによって参考となるものを探し、伝えることによって貢献することを目的としている。

方法： 極力事前の連絡はとらないで、直接訪問する。そのほうが図書館のありのままの状態・利用者の様子が見られる。自分の目で見て、肌で感じることでつまり利用のし易さ、快適度等体感できることに重きを置いている。

結果： ここ数年の間にもかなりの変化が見られる。増改築・改装はもとより新築の場合にはあきらかに従前の図書館とは違いが見られる。

考察： 今回はその中でも特徴が顕著と思われる図書館をいくつかと選んでみた。よりゆとりを持たせた環境としての図書館、過去の遺産としての貴重な資料等の保存・展示を博物館的に同居させると同時にコンピュータ教育・利用の重視という方向へと進んでいるように見受けられる図書館である。これらの図書館がなんらかの参考となれば幸いである。